

令和８年度第２回調布市表彰審査委員会会議要録

日 時 令和８年８月２４日（月）

午前１０時００分から午前１０時５０分まで

会 場 調布市役所５階 特別会議室

○出席者

【委員】瀧柳会長、関森副会長、中村委員、今井委員

【事務局】総務部長、総務部次長、総務課職員３人

○会議内容

１ 委員の委嘱について

委員に林市長から委嘱状を交付。

２ 審議

(１) 諮問第１号 市民表彰について

諮問について事務局から説明。

審議の結果、全委員異議なく諮問のとおり答申することに決定。

【意見】

今 井 委 員：推薦課が総務課となっている案件が多数あるが、これはどういう仕組みか。推薦された案件について基準への適合性を判断したり、知見のある関係部署へ確認しているか。

総務課長補佐：候補者は、各課から推薦される他、市民からの直接の推薦がある。市民から推薦のあった案件については、総務課で受け付けるため、推薦課が総務課となっている。調書の内容については、推薦内容に記載された功績等に誤りがないか、必要に応じて推薦者や所管課からヒアリングを行っている。

今 井 委 員：都市整備功労について。工事成績評定が優秀であったということだが、これまでは平均的に何点くらいだったのか。

総務部次長：これまで、工事の成績が優秀であった者は、市政功労者表彰ではなく、検査や契約関連の枠組みで表彰をしていた。令和５年度の表彰選考基準の改正の際に市政功労者表彰で表彰できる仕組みに改正した。市政功労者表彰で表彰するのは初

めてとなる。また、工事成績に関しては、10年程度前に評価が優秀という成績を収めた団体があったことを把握している。

関森副会長：調布駅前広場工事が完成してみると調布市が誇れるものとなっている。設計や施工などに携わった企業の努力によって実現したものである。完成という節目に表彰を行うことは意義がある。

瀧 柳 会 長：東京都では一定の高評価を得ると知事表彰の対象となる。
80点という評価は高い評価であると認識している。

今 井 委 員：市の歴史に残る事業であり、この機会に表彰候補としたことは適当である。新時代調布のシンボルとなる素晴らしい駅前広場を整備した工事の優良さのみならず、安全な歩行者動線を確認しながら進める難しい工事を円滑に実施した施工監理の点も評価できる。

中 村 委 員：表彰対象が多岐にわたる分野に及んでおり、幅広い活動が評価されていることを喜ばしく感じている。青少年の健全育成推進委員会については、減少傾向があるため、表彰を機にその活動に広く関心を持っていけると良い。

(2) 諮問第2号 自治表彰について

諮問について事務局から説明。

審議の結果、全委員異議なく諮問のとおり答申することに決定。

【意見】

今 井 委 員：表彰を辞退した場合の取扱いはどうなるか。

総務部次長：表彰審査委員会から答申をいただいた後、対象者へ受賞意思を確認する。辞退した場合は受賞者とならない。

中 村 委 員：受賞歴のある方が再度表彰の対象となった場合はどうするか。

総務部次長：過去の受賞者については、受賞理由を含めて管理しており、推薦時に受賞歴を確認している。同一の功績を理由とする重複受賞は認めていないが、受賞理由が異なる場合は受賞可能としている。

3 その他

(1) 追加諮問について

追加諮問がある場合は、9月中旬を目途に事務局から委員へ郵送で諮問し、郵送により回答をいただく。（書面開催）

(2) 市政功労者表彰式について

日付 令和8年11月12日（木）

会場 調布市グリーンホール 大ホール